

平成 24 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	コンパイラ	担当教員	出口 利憲		
学年学科	5 年 電気情報工学科	前期	選択	1 単位	
学習教育・目標	( D - 4 ( 3 ) ) 1 0 0 %	JABEE 基準 1 ( 1 ): ( d )			
授業の目標と期待される効果： コンパイラの役割と構成及び実現方法を理解する。  (1) コンパイラの役割・構成を理解する。 (2) 文法とその表現方法を理解する。 (3) 字句解析を理解する。 (4) 構文解析を理解する。 (5) 意味解析を理解する。 (6) コード生成を理解する。		成績評価の方法： 中間試験を 100 点，期末試験を 100 点，演習レポートを 50 点とし，総得点率によって成績を評価する。  達成度評価の基準： 以下の項目についての問題に対し，6 割以上の正答レベルまで達していること。成績評価への重みは均等である。 (1) コンパイラの構成要素およびその役割がわかる。 (2) BNF 記法を扱うことができ，構文図式がわかる。 (3) 字句解析手法がわかる。 (4) 下向き構文解析がわかる。 (5) 記号表の構成法や探索法がわかる。 (6) 最適化・例外処理を含めコード生成法がわかる。			
授業の進め方とアドバイス： 教科書に沿って授業を進める。					
教科書および参考書： IT Text コンパイラとパーチャルマシン（今城 哲二，他・オーム社）を教科書とする。					
授業の概要と予定：前期					
第 1 回：コンパイラの概要					
第 2 回：コンパイラの構成					
第 3 回：プログラム言語の形式的記述					
第 4 回：字句解析（有限オートマトン）					
第 5 回：字句解析（字句読み取りプログラム）					
第 6 回：構文解析					
第 7 回：下向き構文解析					
第 8 回：中間試験					
第 9 回：中間表現					
第 10 回：意味解析					
第 11 回：コード生成					
第 12 回：最適化					
第 13 回：例外処理					
第 14 回：実行環境との連携					
第 15 回：動的コンパイラ					
期末試験					
第 16 回：フォローアップ（期末試験の解答の解説など）					